



第86・87号

(昭和42年1月—2月)

目次

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 関係法令                     | 1 |
| 学内規則                     | 1 |
| 富山大学教員の停年に関する規程の特例に関する規則 | 1 |
| 富山大学教養部設立準備委員会規則         | 2 |
| 富山大学教養部設立準備委員会専門分科会細則    | 2 |
| 諸会議                      | 2 |
| 人事異動                     | 3 |
| 学内諸報                     | 3 |
| 昭和42年度入学志願者数             | 3 |
| 教養部設立準備委員会の発足            |   |
| 学部長の改選                   | 4 |
| 卒業式ならびに入学式の日程決まる         |   |
| 学生集団スキー講習実施              | 4 |
| レクリエーション                 | 4 |
| 学位取得者                    | 4 |
| 職員消息                     | 5 |
| 主要日誌                     | 5 |
| 正誤                       | 6 |

関係法令

省令

〔文部省〕

- 1 国立養護教諭養成所又は国立工業教員養成所を卒業した者の大学への編入学に関する省令 2. 23

規則

〔人事院〕

- 9-31 隔遠地手当の一部を改正する規則 1. 10
- 9-22 暫定手当の一部を改正する規則 2. 27

訓令

〔文部省〕

- 1 文部省宿舍事務取扱規程の一部を改正する訓令 2. 1  
号外 10

告示

〔文部省〕

- 2 昭和42年度以降の学校保健統計調査の調査票及び集計表の提出期限を定める件 1. 11

- 6 昭和42年度において、文部省所管において発注する土木建築に関する工事、施設等の解体運搬に関する工事及び造園、造林等の工事又は物品の製造、物件の買入れ若しくは立木竹の売払いの一般競争に参加する者に必要な資格審査の申請の時期及び方法を定めた件 2. 3

官庁報告

- 人事院の権限及び所掌事務の一部委任に関し決定した件（人事院公示1） 1. 7
- 昭和38年人事院公示第5号の一部改正に関し決定した件（同2） //
- 昭和41年度国家公務員採用東海・北陸地方中級試験第1次合格者（人事院中部事務局長） 1. 24
- 学位授与（文部省） 2. 1  
号外 10
- 昭和42年度国立大学学生募集要項（第2期校）（同） 2. 7  
号外 11
- 昭和42年度国立大学学生募集要項（短期大学）（同） //
- 昭和41年度国家公務員採用東海・北陸地方中級試験合格者（人事院中部事務局長） 2. 16
- 学位授与 2. 21
- 昭和41年度第2・四半期における予算使用状況報告（内閣） 2. 21  
号外 15
- 昭和41年度第2・四半期における国庫の状況報告（同） 2. 22

学内規則

富山大学教員の停年に関する規程の特例に関する規則の制定

富山大学教員の停年に関する規程の特例に関する規則を次のように制定する。

昭和42年2月10日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学教員の停年に関する規程の特例に関する規則

富山大学学部附属研究施設の設立当初に施設長として他大学を停年退職して採用された教授の停年は、富山大学教員の停年に関する規程（昭和32年2月8日制定）第1条の規定にかかわらず、学部教授会全員の承認があった場合に限り、その停年を67才とすることができる。

附則

- 1. この規則は、昭和42年2月10日から施行する。
- 2. この規則は、昭和44年4月1日限りで廃止する。

### 富山大学教養部設立準備 委員会規則の制定

富山大学教養部設立準備委員会規則を次のように制定する。

昭和42年 2月17日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学教養部設立準備委員会規則

(設置)

第1条 富山大学に富山大学教養部設立準備委員会(以下「**本会**」という。)をおく。

(目的)

第2条 本会は、学長の諮問に応じ、教養部の設立に関し次の事項を審議する。

- (1) 教官の人事に関する事項
- (2) 規則等の作成に関する事項
- (3) 教育課程の作成に関する事項
- (4) その他教養部設立に関する必要な事項

(構成)

第3条 本会は、次の職員をもって構成する。

- (1) 学 長
- (2) 各学部長
- (3) 各学部から選出された教授 各1名
- (4) 文理学部および文理学部併任教授のうち学長の指名する者若干名
- (5) 事務局長
- (6) 学生部長

(議事)

第4条 学長は、会議を招集し、その議長となる。

2 学長に事故あるときは、学長の指名する委員がこれに代わる。

第5条 本会は、構成員の3分の2以上が出席しなければ開会することができない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決する。可否同数であるときは、議長がこれを決する。

(専門分科会)

第6条 本会に専門分科会をおく。

2 専門分科会に関する必要な事項は、細則に定める。

(幹事)

第7条 本会に幹事5名をおく。

2 幹事には、庶務課長、会計課長、施設課長、学生課長および厚生課長をもってあてる。

(庶務)

第8条 本会の庶務は、事務局および学生部で処理する。

附 則

- 1. この規則は、昭和42年2月17日から施行する。
- 2. この規則は、富山大学教養部が設置された日をもって廃止する。

### 富山大学教養部設立準備委員会 専門分科会細則の制定

富山大学教養部設立準備委員会専門分科会細則を次のように制定する。

昭和42年 2月24日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学教養部設立準備委員会専門分科会細則

(趣旨)

第1条 富山大学教養部設立準備委員会(以下「**委員会**」という。)規則第6条第2項の規定により、この細則を定める。

(目的)

第2条 専門分科会は、教養部設立準備に必要な専門事項の調査、研究、計画立案を行なう。

(専門分科会の種類)

第3条 専門分科会の種類は、法規組織分科会、カリキュラム分科会および厚生補導分科会とする。ただし、必要に応じて、委員会の議を経てその他の専門分科会をおくことができる。

(構成)

第4条 各専門分科会は、次の職員をもって構成し、その専門事項にあたるものとする。

- (1) 文理学部および文理学部併任教官のうち学長の指名する者 若干名
- (2) 各学部長の推せんによる教官 各1名
- (3) その他学長の指名する職員 若干名

(主任)

第5条 各専門分科会に主任1名をおく。

2 主任の選出は、当該専門分科会委員の互選による。

(幹事)

第6条 各専門分科会に幹事をおく。

2 幹事には、庶務課長、会計課長、施設課長、学生課長および厚生課長をもってあてる。

(補則)

第7条 この細則の改廃は、委員会の議を経て行なうものとする。

附 則

この細則は、昭和42年2月24日から施行する。

### 諸 会 議

#### 第8回 評 議 会 (1月20日)

(議題)

- 1. 昭和42年度学生募集追加要項について
- 2. 昭和42年度富山大学入学者選抜学力試験問題作成委員の辞退について
- 3. 国立大学事務局長会議について

第9回評議会 (2月10日)

(議題)

1. 教官人事について
2. 富山大学教員の停年に関する規程の特例(案)について
3. 昭和41年度卒業式(修了式)並びに昭和42年度入学式について
4. 富山大学教養部設立準備委員会規則(案)の制定について
5. 一般教育学生と大学側の話し合いについて

第10回評議会 (2月17日)

(議題)

1. 昭和42年度富山大学大学院薬学研究科第2次入学試験合格者について
2. 外国人留学生(大学院薬学研究科)の受入れについて
3. 富山大学教養部設立準備委員会規則(案)について
4. 薬学部附属和漢薬研究施設長の停年延長について
5. 短大、高専卒業者の大学へ編入学の際の一般教育科目単位の認定について
6. 教育学部長候補者選挙の結果について

人事異動

| 現官職              | 氏名      | 異動内容   | 発令年月日     | 発令者   |
|------------------|---------|--|-----------|-------|
|                  | 高瀬 邦 弘  | 事務員(富山大学文理学部)に採用する                                   | 42. 2. 1  | 富山大学長 |
|                  | 佐々木 ア ヤ | 文部教官(富山大学教育学部附属幼稚園教諭)に臨時的に任用する<br>任期は昭和42年4月14日までとする | 42. 2. 17 | 〃     |
| 学務第一係長<br>(文理学部) | 野村 信 生  | 富山大学文理学部学務第二係長に併任する                                  | 42. 2. 1  | 〃     |
| 文部技官<br>(薬学部)    | 大田 洋 子  | 助手に配置換する   | 42. 1. 1  | 〃     |
| 技(会)能計課員         | 小善 ツ ヤ  | 復職させる  | 42. 2. 1  | 〃     |
| 〃                | 〃       | 辞職を承認する  | 42. 2. 15 | 〃     |

学内諸報

昭和42年度入学志願者数

昭和42年度入学願書受付は、2月13日から21日までの9日間学生部で行なわれた。

本年は、ベビーブームによる大学進学希望者急増の2年目にあたり入学志願者数は、昨年度と比して大差がないと当初より予想されていたが、結果は意外にのびず、昨年度より25%減という大巾の減りを示した。

学部学科(課程)別入学志願者数は次のとおり

| 学部   | 学科課程                      | 定員         | 志願者数  | 倍率  |
|------|---------------------------|------------|-------|-----|
| 文理学部 | 文 学 科                     | 40(20)     | 336   | 8.4 |
|      | 理 学 科                     | 60(65)     | 539   | 9.0 |
|      | 小 計                       | 100(85)    | 875   | 8.8 |
| 教育学部 | 小学校教員養成課程                 | 100        | 600   | 6.0 |
|      | 中学校教員養成課程<br>(養護学校教員養成課程) | 50<br>(20) | 342   | 6.8 |
|      | 小 計                       | 150(20)    | 942   | 6.3 |
| 経済学部 | 経 済 学 科                   | 160        | 1,478 | 9.2 |
| 薬学部  | 薬 学 科                     | 50         | 334   | 6.7 |
|      | 製 薬 化 学 科                 | 50         | 228   | 4.6 |
|      | 小 計                       | 100        | 562   | 5.6 |

|     |               |              |       |     |
|-----|---------------|--------------|-------|-----|
| 工学部 | 電 気 工 学 科     | 40(10)       | 200   | 5.0 |
|     | 工 業 化 学 科     | 40           | 181   | 4.5 |
|     | 金 属 工 学 科     | 40           | 151   | 3.8 |
|     | 機 械 工 学 科     | 50           | 229   | 4.6 |
|     | 生 産 機 械 工 学 科 | 40           | 141   | 3.5 |
|     | 化 学 工 学 科     | 40           | 145   | 3.6 |
|     | 小 計           | 250(10)      | 1,047 | 4.2 |
| 合 計 |               | 760<br>(115) | 4,904 | 6.5 |

( )内は、昭和42年度において新設及び定員増が見込まれる課程及び数を示す。

富山大学教養部設立準備委員会の発足

一般教育に関する諸問題のうち当面の懸案とされていた教養部独立が叫ばれて久しいが、本会では、このたび教養部設置認可が具体化されつつあるとして、教養部設立準備委員会を発足した。

本学の教養部独立に関しては、一般教育審議会で準備が進められていたが、委員会の発足により、教養部独立にともなう具体的諸事項を受け継ぎ、より具体的事項について審議することとなったもの。

なお、委員会では、法規組織、カリキュラム、厚生補導などの専門分科会を設け教養部設立準備に必要な専門事項

の調査、研究、計画立案にあたらせることとした。

### 学部長の改選

#### 教育学部長

蜷川教育学部長の任期満了（3月30日）にともなう学部長選挙は、2月15日教育学部において行なわれ、蜷川栄作現学部長（5代目）が再選された。

#### 経済学部長

野崎経済学部長の任期満了（3月31日）にともなう学部長選挙は、2月23日経済学部において行なわれ、植村元覚教授が新学部長（10代目）に選ばれた。

植村教授は、昭和14年京都帝国大学経済学部、16年同大学文学部を卒業し、17年神宮皇学館大学予科講師を振り出しに教員生活に入る。21年富山高等学校講師、24年本学文理学部助教授となり、26年内地研究員として京都大学で10カ月間経済地理学の研究に従事した。28年文理学部経済学科の学部昇格にともない、経済学部助教授に配置換えとなった。以後、単位修得試験成績審査委員、原子力同位元素委員会委員、一般教育審議会委員、体育部会委員、体育館運営委員会委員、入学者選抜にかかる問題作成主任委員、採点委員、調査書審査委員など学内各種委員をつとめるとともに文理、教育、薬学部併任教官としてもその任にあたり、34年教授に昇格、36年「行商圏と領域経済」の研究により経済学博士の学位を取得した。41年9月文部省在外研究員として連合王国及びアメリカに派遣され、12月に帰国した。富山市出身。

### 卒業式ならびに入学式の日程決まる

昭和41年度卒業式ならびに昭和42年度入学式の日程は、2月10日開催の評議会でおりのり決められた。

#### 昭和41年度卒業式

日時 昭和42年3月20日（月）午前10時  
場所 黒田講堂

#### 昭和42年度入学式

日時 昭和42年4月11日（火）午前10時  
場所 黒田講堂

### 学生集団スキー講習実施

第17回富山大学学生集団スキー講習は、1月6日から7日間、長野県志賀高原発湯温泉付近で開かれた。

同講習は、例年同地で実施しているもので、今回は133名の参加学生を対象に、12名の指導教官のもとに次の日程で行なわれた。

1月6日 開講式  
7日 練習、歌唱指導  
8日 〃 ミーティング

9日 〃 歌唱指導  
10日 〃 ミーティング  
11日 〃 反省会、閉講式  
12日 帰省

### レクリエーション

#### 学内麻雀大会

実施月日 2月4日（土）  
実施場所 職員ホール  
参加人員 44名  
入賞者 優勝 松沢義治（工）  
次勝 飯田修三（短）  
3位 土肥隆三（薬）

#### 学内囲碁大会

実施月日 2月18日（土）  
実施場所 職員ホール  
参加人員 35名  
入賞者 A組 優勝 高野兼吉（教）  
次勝 浦田隆志（本）  
3位 近堂和郎（文）  
B組 優勝 高山藤一郎（工）  
次勝 泉 三郎（本）  
3位 小西照泰（教）  
C組 優勝 土肥隆三（薬）  
次勝 村沢 巖（教）  
3位 松下基清（薬）

#### 学内将棋大会

実施月日 2月25日（土）  
実施場所 職員ホール  
参加人員 29名  
入賞者 A組 優勝 高木行則（教）  
次勝 若林良吉（本）  
3位 植吉和政（教）  
B組 優勝 吉田 博（教）  
次勝 堀 重男（経）  
3位 塚田健夫（教）

### 学位取得者

工 学 部 教授 塚島 寛  
取得学位 理学博士  
論文題目 人造石炭の分析化学的研究  
提出大学 北海道大学  
論文主査 授教 神原富民  
取得年月日 昭和41年12月25日  
教育学部 教授 溝上 茂夫  
取得学位 教育学博士  
論文題目 ウイルマン教育学の歴史的意義  
提出大学 広島大学

論文主査 教授 莊司雅子  
取得年月日 昭和41年12月7日

## 職 員 消 息

### <新任者>

文理学部

事務員 高瀬 邦弘

教育学部

教諭 佐々木アヤ

### <改姓>

会計課

事務官 中田 節子(旧姓・川田)

### <住所変更>

会計課

事務官 中田 巖禎

〃 中田 節子

薬学部

助教授 野村 昇

〃 塚田 欣司

### <住所地名・住居表示変更>

文理学部

教授 大島 文雄

〃 児島 毅

助教授 中臣 恵暁

〃 山本 篤司

事務官 島田 政信

## 主 要 日 誌

### 本 部

- 1月4日 新年祝賀会  
6~12日 学生集団スキー講習(発哺温泉)  
14日 国立大学事務局長会議(文部省)  
17日 評議会特別小委員会  
17~27日 文部省人事事務研修(オリンピック記念青少年総合センター)  
18日 改正給与法説明会(金沢合同庁舎)  
19日 公務員宿舎委員会  
20日 評議会(第8回)  
〃 入学試験管理委員会  
21日 事務協議会(第6回)  
23日 一般教育審議会  
24日 学務関係打合せ会

- 27日 評議会特別小委員会  
2月1日 本部健康診断  
2日 学生会館運営委員会  
3日 公務員宿舎委員会  
4日 学内麻雀大会  
10日 評議会(第9回)  
13~21日 入学願書受付  
14日 補導協議会  
〃 昭和42年度文部省所管指定統計調査地方ブロック指示説明会(名古屋大学)  
15・16日 第9回北陸三大学施設担当者研修協議会(金沢大学)  
16日 国家公務員給与等実態説明会(金沢合同庁舎)  
17日 評議会(10回)  
18日 学内囲碁大会  
20日 大学院工学研究科設置に伴う実地視察  
24日 教養部設立準備委員会  
25日 学内将棋大会

### 文 理 学 部

- 1月11日 第11週授業開始  
25日 人事教授会  
2月1日 教授会  
8日 文学科懇話会 島崎教授研究話題「イギリス経験論について」  
14日 後期授業終了  
16日 人事教授会  
16~23日 期末試験(一般教育)  
22日 教授会

### 教 育 学 部

- 1月18日 教務委員会  
〃 教授会  
25日 学部長候補者選挙委員会  
〃 人事教授会  
26日 予算委員会  
2月1日 人事教授会  
〃 選考委員会  
3日 〃  
6日 人事教授会  
8日 教務委員会  
〃 教授会  
15日 教育学部長候補者選挙  
22日 補導委員会  
〃 教授会  
23日 教育実習委員会  
〃 教務委員会

**経済学部**

- 1月6日 教務委員会
  - 〳 第28回教授会
  - 〳 教務・補導合同委員会
- 9日 授業開始
  - 〳 授業関係変更のオリエンテーション
- 10日 教務・補導合同委員会委員と旧内田ゼミ学生の懇談会
- 12日 人事教授会
  - 〳 第29回教授会
- 13日 授業関係変更の第2回オリエンテーション
- 18日 経済学会委員会
- 19日 教務・補導合同委員会
  - 〳 第30回教授会
  - 〳 学部長選挙管理委員会
- 24日 人事教授会
- 26日 教務・補導合同委員会
- 2月1日 学部長候補者選挙管理委員会
  - 〳 長期人事計画委員会
  - 〳 教務・補導委員と学生の懇談会
- 2日 教務委員会
  - 〳 第31回教授会
  - 〳 学科新設推進委員会
- 9日 人事教授会
- 13日 学科新設推進委員会
- 14～21日 学期末試験
- 17日 学科新設推進委員会
- 20日 職業補導委員会
- 23日 教務委員会
  - 〳 学部長候補者選挙
  - 〳 第32回教授会
- 27日 人事教授会

**薬学部**

- 1月9日 授業開始
- 12日 教授会
- 20～2月4日 大学院薬学研究科（第2次募集）入学願書受付
- 28日 学生予餞会
- 2月6日 薬学研究科委員会
- 13～14日 大学院薬学研究科（第2次募集）入学試験
- 14日 薬学研究科委員会
  - 〳 人事教授会
- 18日 大学院薬学研究科（第2次募集）合格者発表
- 21日 非常勤講師日南田義治氏逝去
- 23～24日 大学院修了予定者学位論文発表会
- 27日 人事教授会

27～3月7日 期末試験

**工学部**

- 1月25日 一般教授会
  - 〳 専任教授会
- 2月15日 大学院設置準備委員会
- 20日 富山大学大学院工学研究科設置実地視察のため大学設置分科委員大山義年氏、工学視察委員灘波正人氏、文部省大学学術局庶務課浅岡輝彦氏来学本部から学長等同道
- 22日 一般教授会
  - 〳 専任教授会

**附属図書館**

- 1月9日 事務打合せ会（第9回）
- 10日 時間外開館開始
- 13日 職員尿糖、尿蛋白検査実施
- 2月3日 事務打合せ会（10回）
- 23日 夜間開館休止

**経営短期大学部**

- 1月10日 授業開始
- 11日 入学試験問題作成委員会
- 17日 卒業準備委員会（学生）
- 23日 特別講演（関西大学助教授長砂実氏）
- 25日 教官会議
- 30日 授業終了
  - 〳 追・再試験実施
- 2月2～8日 期末試験
- 13日 予餞会
- 21日 非常勤講師との打合せ懇談会
- 22～3月3日 入学願書受付

正 誤

| ページ | 欄 | 行  | (原稿誤り)                                      |
|-----|---|----|---|
| 3   | 右 | 30 | 昭和41年11月(84号)経営短期大学部創立5周年記念文化祭に係る記事全部を取り消す。 |